

今後、宇迦橋を架け替える方向で検討を進めます

現在の宇迦橋は昭和12年に完成してからこれまで80年近くの間、出雲大社門前町の玄関口として多くの地元の方、観光客に親しまれてきました。

これまで補修工事を重ねながら維持してきましたが、現在の橋の状況を調査した結果、以下の①～③のような理由から、県では、現在の橋の補修・補強による対応を続けることが困難と判断し、今後新しい橋に架け替える方向で検討を進めることとしました。



昭和30年代の宇迦橋

資料：『出雲・雲南の昭和』

宇迦橋の状況

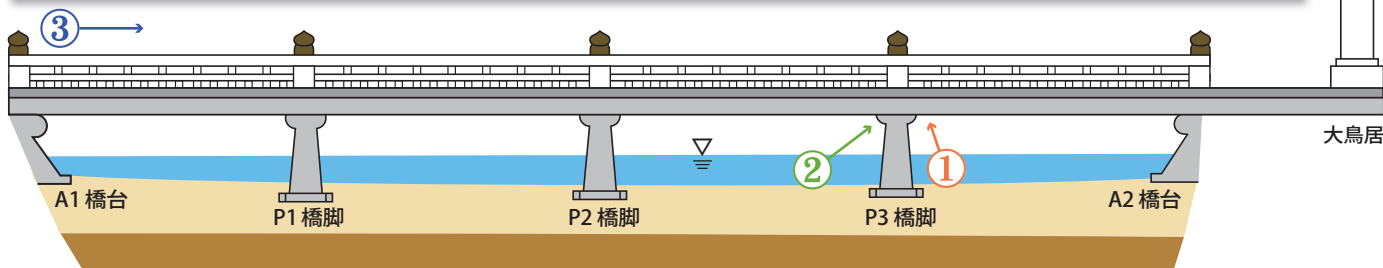
① 鉄筋コンクリートの劣化が進んでいます。

宇迦橋の桁は鉄筋コンクリートでできていますが、これまでひび割れを直したり、鋼板を接着して剥落を防いだりする補修工事を実施してきました。しかし、老朽化により中性化※を原因とする鉄筋コンクリートの劣化が進行している状況が見られます。

※空気中の炭酸ガスが侵入してアルカリ性を失う現象

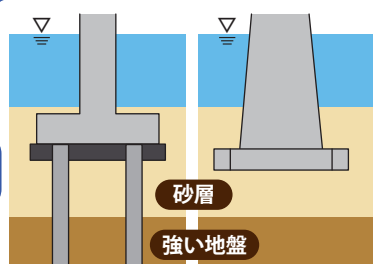


鋼板で補修した桁



② 橋脚の耐震性が十分でない状況です。

通常の橋脚では、基礎の底板をT字型にし、さらにその下に強い地盤まで貫く基礎杭を打って、安定を保っています。しかし、宇迦橋は昭和12年に作られた古い橋のため、このような構造になっていないことから、地震に対する安定性が十分とは言えない状況にあります。



▲ 通常の橋脚の基礎イメージ

▲ 宇迦橋の基礎構造



P3橋脚

③ 十分な歩行空間が確保されていません。

現在の宇迦橋は歩道の幅が約1.5mしかありません。ご縁広場から4つの鳥居をくぐって参拝される観光客が増え、また地元の小中学校の通学にも利用されている中で、歩行者どうし、歩行者と自転車が安全にすれ違いできる空間が確保できていないのが現状です。



宇迦橋を歩く観光客

《神門通り2期工事》(出雲大社前駅～大鳥居付近) 今後の工事スケジュール

電線地中化の入線作業と電柱撤去は年末までに行う予定です。

工種	工事主体	平成27年度					平成28年度
		8月	9月	10月	11月	12月	1月
地中の電線管に配線する工事	電線管理者						
電柱を撤去する工事							
西側排水路の流末を改修する工事	島根県						
残りの照明灯を設置して配線する工事							
残りの石畳舗装と植栽樹を仕上げる工事							

出張
PR館!!

大社中学校3年生「ふるさと学習」で授業を行いました。

授業は「神門通りの道づくり」「神門通り廻りの会活動の歩み」「神門通りの成り立ち」の3つに分かれ、生徒の皆さんは興味のあるグループでそれぞれ講師のお話を聞きました。

- 電線の地中化や、松の木の保全、石畳を割れないように丈夫にすることなど、見えないところでの神門通りの工夫がたくさんありました。今日言われた事を考えながら歩いてみたいです。
- ただお店が立ち並ぶだけではなく、季節を感じさせる桜の花を飾ることや個性あふれるデザインの日よけのれんががあったり、歩く人たちにとって、楽しみの1つになっている事も分かりました。
- 戦中の混乱した中でも、お盆には通りの真ん中にやぐらをたてて踊ったという事を聞き、昔からこの地域を盛り上げる活動がずっと行われてきたという事は、すごいことだと思います。

生徒の
感想



『神門通りの道づくり』

出雲県土整備事務所 荒木俊輔係長



『神門通り廻りの会の歩み』

神門通り廻りの会 多々納光教事務局長



『神門通りの成り立ち』

神門通り沿いの旅館を
長年営んできた 間壁宏吉氏

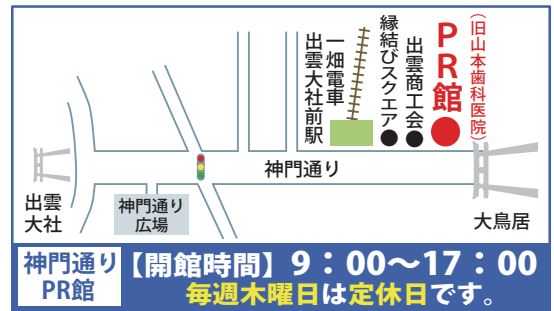
神門通りPR館へぜひお越しください!

神門通りの工事についての案内や様々な展示を行っています。

ナビゲーターが
発信中!
「神門通り
PR館」で検索



おおのさん そのやまさん たくわさん まついさん
Ameba Facebook twitter



神門通り PR館 【開館時間】 9:00~17:00
毎週木曜日は定休日です。

出雲県土整備事務所 都市整備課からのお知らせ

神門通り線の街路事業につきましては、おかげさまで1工区(勢溜～大鳥居付近)が今年度で完了する運びとなりました。ご協力本当にありがとうございました。

この1工区の完了を見据え、出雲県土整備事務所では昨年度より宇迦橋の現状についての調査を行ってまいりましたが、今号でお伝えしておりますように、いよいよ橋を新しく架け替える方向で検討を進めます。

来年度(平成28年度)より、新宇迦橋の橋梁の構造、施工の方法、近接する大鳥居への影響など具体的な設計・検討に着手し、合わせて神門通り線の2工区(大鳥居付近～吉兆館交差点)についても事業化に向けて準備します。これらの設計・検討の状況や事業全体のスケジュールについては、工事かわら版のほか、様々な方法、場面を活用してみなさまに随時情報提供していきたいと考えています。

いろいろとご心配をおかけしますが、引き続きご理解をよろしくお願いいたします。